

# 三井住友・ ヨーロッパ国債ファンド

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：ヨー国債

第45作成期 2025年2月21日から2025年8月20日まで

第264期 決算日  
2025年3月21日

第265期 決算日  
2025年4月21日

第266期 決算日  
2025年5月20日

第267期 決算日  
2025年6月20日

第268期 決算日  
2025年7月22日

第269期 決算日  
2025年8月20日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはEU（欧州連合）加盟国の高格付けの国債を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当作成期の状況

基準価額（作成期末）	6,108円
純資産総額（作成期末）	3,926百万円
騰落率（当作成期）	+8.4%
分配金合計（当作成期）	60円

※騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

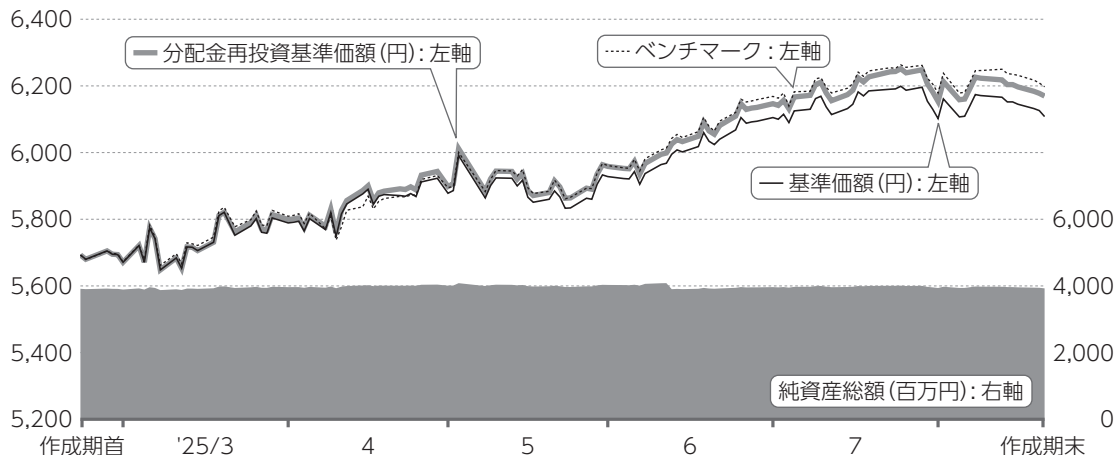
当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書（全体版）」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,693円
作成期末	6,108円 (当作成期既払分配金60円(税引前))
騰落率	+8.4% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、FTSE 欧州世界国債インデックス(円換算ベース)です。

※FTSE 欧州世界国債インデックスに関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。また、同社は当ファンドの取引および運用

成果等に関して一切責任を負いません。

## 基準価額の主な変動要因(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

当ファンドは、EU(欧州連合)加盟国の高格付けの国債を主要投資対象として運用しました。なお、外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

### 上昇要因

- 保有している債券からインカムゲインを得たこと
- トランプ政権の経済政策などをめぐる先行きが懸念され、ユーロが米ドル離れの逃避先として選好されたことなどから、ユーロが対円で上昇したこと

## 1万口当たりの費用明細(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	27円	0.461%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は5,941円です。
(投信会社)	(13)	(0.217)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(13)	(0.217)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.017)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(-)	(-)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	28	0.480	

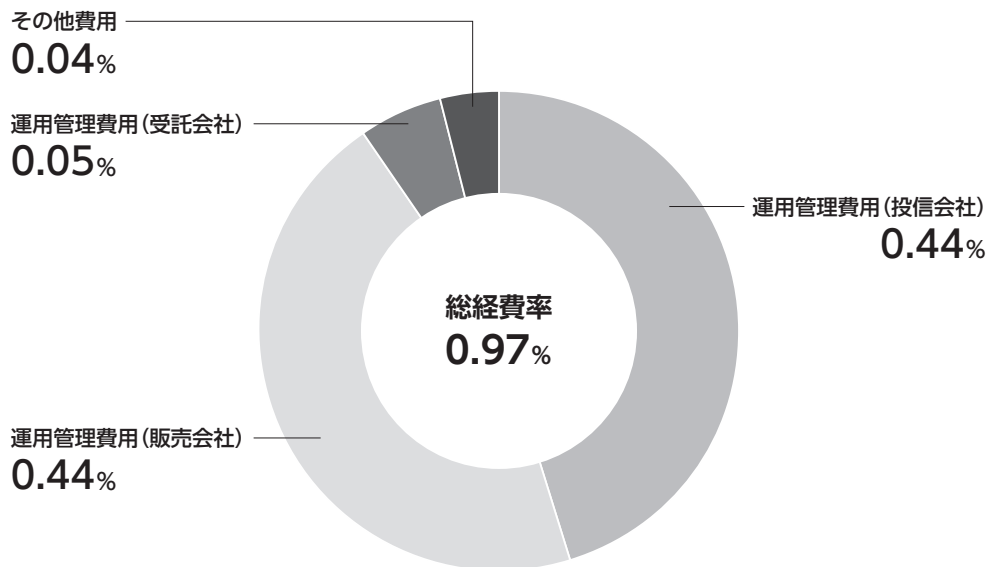
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

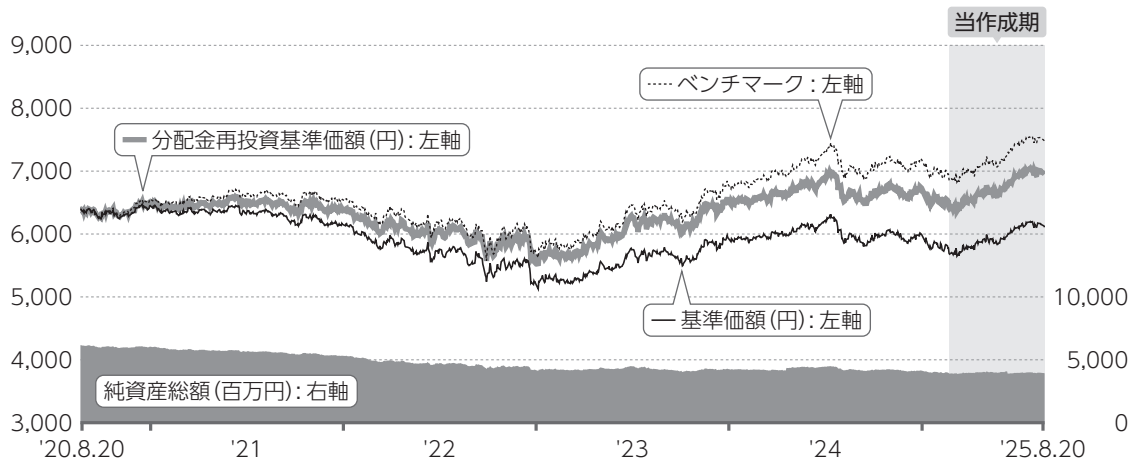
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.97%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年8月20日から2025年8月20日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2020年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2020.8.20 決算日	2021.8.20 決算日	2022.8.22 決算日	2023.8.21 決算日	2024.8.20 決算日	2025.8.20 決算日
基準価額	(円)	6,389	6,292	5,606	5,686	5,958	6,108
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	180	180	165	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	1.3	-8.2	4.5	6.9	4.6
ベンチマーク騰落率	(%)	—	3.4	-8.3	5.7	9.9	6.2
純資産総額	(百万円)	6,160	5,581	4,580	4,211	4,225	3,926

## 投資環境について(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

フランスやドイツなど欧州の長期金利(10年国債利回り)は上昇(債券価格は下落)しました。為替市場では、ユーロなどの投資通貨は円に対して上昇しました。

### 債券市場

欧州では、ドイツで次期政権の樹立を控えて大規模な財政拡張パッケージが発表され、金利は一時大きく上昇しましたが、米国の相互関税の発表や、ECB(欧州中央銀行)による利下げの実施などを背景に、金利は上昇幅を縮小する展開となりました。その後は、米国による関税政策を巡る不透明感が意識され、金利は一進一退となりました。期末にかけては、ECBによる利下げサイクルの終わりが意識されたことなどから、金利は上昇基調となりました。

### 為替市場

為替市場では、トランプ政権の経済政策などをめぐる先行きが懸念され、ユーロが米ドル離れの逃避先として選好されたことなどから、対円で上昇しました。欧州の財政拡大期待や、日本の政治不透明感も、それぞれユーロ高、円安の材料となりました。

## ポートフォリオについて(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

### デュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)

期を通じて、デュレーションはベンチマークに対して概ね中立近辺を中心に、金融市場の動向に応じて機動的に調整を行いました。

### 国別配分

ユーロ圏内では、引き続きフランス、ベルギー、ドイツを中心に組み入れを行いました。経済・市場動向や格付け水準等を勘案し、引き続きイタリア、スペインを非保有としました。また、ポーランドについては、ウクライナ情勢の影響と地理的な近接

性を勘案し、非保有を維持しました。EU非加盟国である英国、ノルウェーについては投資を行いませんでした。

は投資を行わないことから、大部分をユーロで保有し、他にデンマーククローネ、スウェーデンクローナを保有しました。また、ウクライナ情勢の影響と地理的な近接性を勘案し、ポーランドズロチの非保有を継続しました。

## 通貨別配分

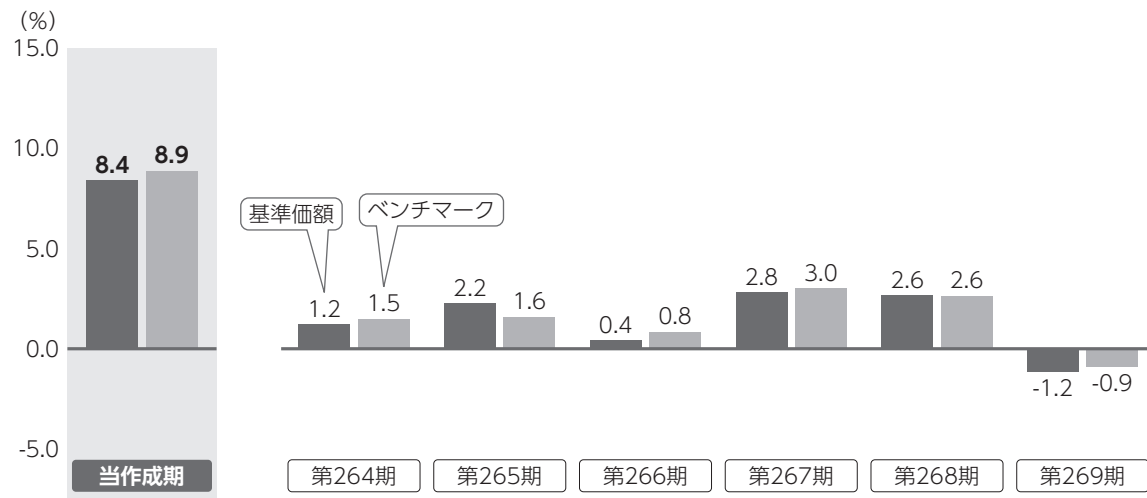
EU非加盟国である英国やノルウェーに

## ベンチマークとの差異について(2025年2月21日から2025年8月20日まで)

当ファンドは、FTSE欧州世界国債インデックス(円換算ベース)をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

## 基準価額とベンチマークの騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金(税引前)込み。

## ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+8.4% (分配金再投資ベース) となり、ベンチマークの騰落率+8.9%を0.5%下回りました。

### マイナス要因

- イタリア (格付け水準から非保有) 分を代替投資しているユーロ圏の国債が、イタリア国債に対しアンダーパフォーマンスしたことなど

## 分配金について (2025年2月21日から2025年8月20日まで)

期間の1万口当たりの分配金 (税引前) は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第264期	第265期	第266期	第267期	第268期	第269期
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(0.17%)	(0.17%)	(0.17%)	(0.17%)	(0.16%)	(0.16%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	172	177	180	187	194	195

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

ユーロ圏では、米関税引き上げが景気を鈍化させるとみられます。一方、財政拡張が景気を支えることも見込まれ、ECBは政策金利を維持すると予想します。そのため、金利は横ばいの展開を予想します。

デフレーションや残存構成は景気情勢や金融政策、需給環境等を踏まえて機動的に対応します。ユーロ圏内の国別配分では、格付け水準等を勘案し、イタリアを非保有とする一方で、フランス、ベルギー、ドイツの組み入れを厚めとします。スペインについては、引き続き経済状況や格付け動向等を注視しつつ、今後の組み入れも検討します。ポーランドの組み入れについては、

ウクライナ情勢の緊張緩和を待って実施する方針です。

為替市場では、ユーロ/円は、もみ合いの展開を予想します。米EU間の相互関税はEU経済に悪影響を与える可能性が高く、ユーロ安要因です。一方、米国資産への投資需要の減少が見込まれることに加え、ユーロ圏に防衛費増加を含む積極財政の動きが見られることが、ユーロを下支えすると考えます。

通貨配分は、大部分をユーロとしたポジションを維持する方針です。EU非加盟国である英国、ノルウェーについては投資を行いません。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)

## 交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

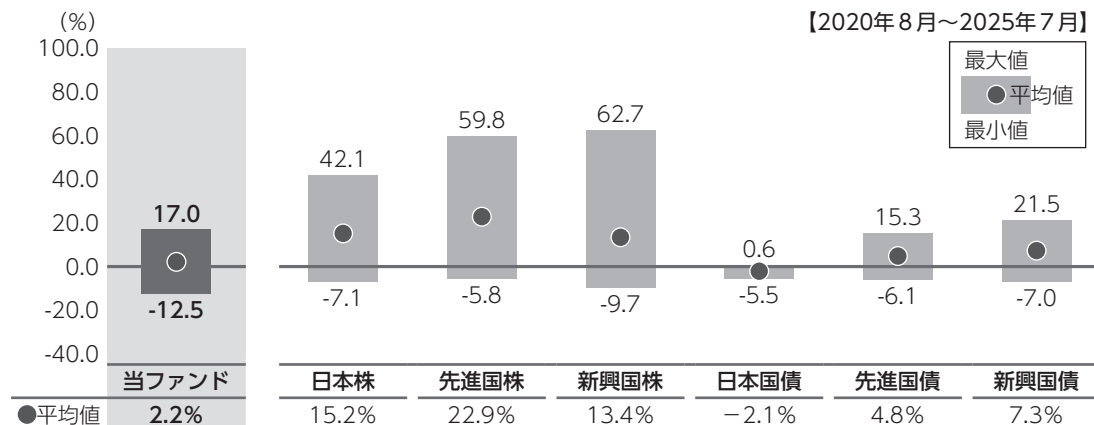
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	無期限(設定日：2003年2月27日)
運 用 方 針	E U (欧州連合)加盟国の高格付けの国債を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	E U (欧州連合)加盟国の高格付けの国債
当 フ ァ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ E U (欧州連合)加盟国の高格付けの国債を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定的な利息収入の確保を目指します。</li> <li>■ F T S E 欧州世界国債インデックス (円換算ベース) をベンチマークとして運用します。</li> <li>■ 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式への投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使による取得に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>■ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。</li> <li>■ 分配対象額は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

<b>日本株</b>	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
<b>先進国株</b>	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
<b>新興国株</b>	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
<b>日本国債</b>	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
<b>先進国債</b>	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
<b>新興国債</b>	<b>JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2025年8月20日)

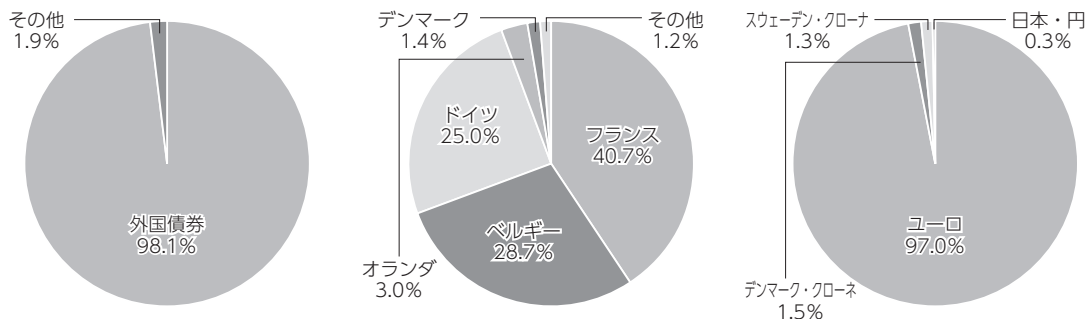
#### 組入上位銘柄

	銘柄名	組入比率		銘柄名	組入比率
1	FRANCE OAT. 4 10/25/38	11.5%	6	FRANCE OAT. 0 11/25/31	6.9%
2	BELGIUM KINGDOM 5.5 03/28/28	10.7%	7	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.6 08/15/33	6.6%
3	BELGIUM KINGDOM 4 03/28/32	10.3%	8	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 0.5 02/15/28	5.1%
4	FRANCE O.A.T. 5.5 04/25/29	10.1%	9	FRANCE OAT. 2 05/25/48	4.8%
5	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 5.5 01/04/31	7.6%	10	FRANCE OAT. 2.5 05/25/30	3.9%
				全銘柄数	22銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目	第264期末 2025年3月21日	第265期末 2025年4月21日	第266期末 2025年5月20日	第267期末 2025年6月20日	第268期末 2025年7月22日	第269期末 2025年8月20日
純資産総額 (円)	3,938,719,841	4,005,555,809	4,004,994,577	3,924,475,072	4,003,648,531	3,926,985,970
受益権総口数 (口)	6,847,474,995	6,822,353,421	6,805,049,695	6,497,395,053	6,468,330,592	6,429,374,674
1万口当たり基準価額(円)	5,752	5,871	5,885	6,040	6,190	6,108

※当作成期における、追加設定元本額は88,641,108円、解約元本額は532,922,465円です。